

第36回 タオルを贈る運動

贈ったタオル

のべ **253** 万枚

生産者より

「酪農家の低脂肪牛乳」
「酪農家の牛乳」の生産者
嶋田治彦さん(埼玉県)



タオルがあるから

乳をしぼることができるんです

うちには乳牛が30頭いて、タオルは毎日朝と夕方、搾乳する前、乳房をふくときに使っています。清潔に保つのはもちろん、じつはふいた刺激で乳が出るので「これからしぼりますよ」という牛への合図でもあるんです。だから、たくさんのタオルがありがたいし、メッセージは何より励みになります。これからも安心して牛乳を飲んでもらえるよう日々がんばります。

組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、生産者の「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という想いがつながり、生まれたのが低めの温度で殺菌するパルスシステムの牛乳。この製法には菌数の少ない生乳が欠かせないため、生産現場では毎日たくさんのタオルを使用して清潔な環境を保っています。そこで1985年にスタートしたのが「タオルを贈る運動」。昨年はタオル55,110枚とメッセージ5,664通を産地に贈りました。

4つの産地に届けます

岩手県
奥中山高原

北海道
根釧地区

茨城県

埼玉県

産地ではこんなふうに使っています

※一例です。



乳房をふいて清潔にすることで生乳の菌数が抑えられます



お湯に浸したタオルで乳房をふきます



タオルは洗って繰り返し使い、1カ月くらいで新しいタオルに取り替えます

あなたのタオルとメッセージをお待ちしております

メッセージはインターネットからも送れます



※インターネット登録が必要です。

1. メッセージを贈る

牛乳を○(マル)で囲んでください。

※複数の産地に贈る場合は、本チラシをコピーして使用するかインターネットよりお願いします。



2. メッセージ、所属センター名を記入し、本用紙をタオルといっしょに通い箱に入れて提出してください。

ご利用の生協名 パルスシステム

センター名

生産者へ 枚のタオルを贈ります

3.

生産者に届けますので、メッセージやイラストをどうぞ！切り取らず、通い箱に戻してください。